

SYLLABUS

2024



別府市医師会立別府青山看護学校

3年課程

シラバスとは

シラバスは、3 学年の授業計画を示したものです。授業ごとに、授業科目、単位数、時間、対象学年、学期、担当教員をはじめ授業ごとの目標や成績評価の基準や方法、使用するテキストなどを示しています。シラバスをとおして授業のイメージを図り、しっかりと準備して授業に臨みましょう。なお、授業は、学生の皆さんの理解の程度や科目間の学習進度に合わせながら進めるため、予定が変更になることもあります。次回の授業の内容や予定の変更等については、講義ごとに案内します。毎回の授業をしっかりと受講し、次の授業に臨むための学習準備をしていきましょう。

目次

○ 2024 シラバス 13-① (概説)	
*シラバスとは	1
*教育理念	2
*教育目的	3
*教育目標	3
*教育理念に基づく方針	3
*ディプロマポリシー	4
*カリキュラムポリシー	4
*カリキュラムデザイン	6
*3年間の履修科目と進度	7
*1年次開講科目と進度	8
*2年次開講科目と進度	9
*3年次開講科目と進度	10
○ 2024 シラバス 13-② (基礎分野)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-③ (専門基礎分野)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-④ (専門分野 基礎看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑤ (専門分野 領域横断)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑥ (専門分野 地域・在宅看護論)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑦ (専門分野 成人看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑧ (専門分野 老年看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑨ (専門分野 小児看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑩ (専門分野 母性看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑪ (専門分野 精神看護学)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑫ (専門分野 看護の統合と実践)	授業計画
○ 2024 シラバス 13-⑬ (専門分野 臨地実習)	授業計画

教育理念

生命尊重と人間愛の精神を基盤として豊かな感性と人間性を備え、専門職業人としての使命感・倫理観を持ち、科学的根拠に基づく看護を実践できる能力を育成するとともに、主体的に学び続ける姿勢と社会に貢献できる有能な人材の育成をします。

教育目的

看護師に必要な専門知識・技術・態度を修得させ、多職種と連携し地域に貢献できる看護師を育成することを目的とします。

教育目標

1. 人々の多様な価値観を認識し、人間関係を形成するための基礎的能力を育成する。
2. 地域の人々の命と生活を守り、人間をかけがえのない存在として総合的に理解できる力を育成する。
3. 人々の健康上の課題に対応するため、科学的根拠に基づいた看護を実践できる能力を育成する。
4. 専門職業人としての使命感を持ち、倫理に基づいた看護を実践できる能力を育成する。
5. 保健・医療・福祉のしくみと多職種の役割を理解し、連携・協働しながら、地域に密着したチーム医療を実践するための基礎的能力を育成する。
6. 看護を探究し、看護の向上を目指して自ら学び続ける姿勢を育成する。

教育理念に基づく方針

別府市医師会立別府青山看護学校は別府市にその所在を置き、地域の人々の健康な暮らしを支えることを役割として認識し、地域医療の担い手として能力を發揮できる有能な人材を育成することを目指しています。別府市は、人口 11 万人を超える大分県 2 番目の都市ですが、全国平均よりも高い高齢化率に加え、障害をもつ多くの人々が暮らし、また、外国からの留学生が多く暮らし、国内外からの観光客が多いといった多様な人々が暮らす特徴のある都市です。そのような特徴を背景にもつ地域を基盤に、人間関係を築く力、多様な人々に心を込めた看護を提供できる力、科学的根拠に基づいた看護を実践する力、倫理観や責任感にもとづき自ら考え行動する力、多職種と連携・協働するための力、そして卒業後も常に学び続ける姿勢を身につけることができるように、総計 102 単位の科目をもって教育課程を編成します。また、科目の履修に加えて行事や課外活動をとおして地域の人々と関わる時間を積極的にもち、人々とのかかわりをとおして、看護師として、ひとりの人間として豊かな感性を育てていきます。また、地域に暮らす人々とのかかわりをとおして人々の健康な暮らしについて関心を持ち、学生各々が主体的に学ぶ姿勢を強くしていくことを期待しています。学生の皆さんひとりひとりの気づきと豊かな発想を尊重し、様々な教育上の工夫を加えながら、この地域で学生の皆さんと共に温かい学校を創る思いで、以下の方針を示します。

ディプロマポリシー（卒業時到達目標の方針）

地域医療の担い手として能力を発揮するために、地域や地域の人々を愛し、教育理念・教育目的・教育目標に沿って設定した授業科目を履修し、所定の単位を修めた次のような人材を社会に輩出いたします。

1. よりよい人間関係を築く力を身につける。
2. 地域愛を基盤に、心のこもった看護が提供できる力を身につける。
3. 確かな知識と技術をもち、科学的根拠のもと看護を実践する力を身につける。
4. 専門職業人としての倫理や責務に基づいて考え、行動できる姿勢を身につける。
5. 多職種と連携・協働するために必要な基礎的な力を身につける。
6. 看護を探究し、学び続ける姿勢を身につける。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

ディプロマポリシーに掲げた看護師を育成するため、以下の方針に基づいて3年間のカリキュラムを編成し、実施いたします。

1. 〔DP よりよい人間関係を築く力を身につける。〕

看護の対象は人間です。その対象とは患者とその家族であり、地域に暮らす人々であり、ともに保健・医療・福祉を支えている多職種です。看護師は、その人々と良好な人間関係を築く努力を惜しまず行う必要があります。まずは、基礎分野において人間や人間を取り巻く社会を理解し、心理学・感性の哲学・人間関係論といった科目をとおして人間関係を築くための知識を身につけ、さらに、専門基礎分野の臨床心理では援助的な人間関係を構築するための方法を学びます。それらを基盤にして、グループワークにおける意見交換、実習におけるリフレクション、課外活動における学生主体のグループ活動を多く取り入れ“相手の話を聴くこと”、“相手の考えを知ること”、“相手の気持ちをわかろうとすること”、“相手に分かるように自分の考えを伝えること”、“相手の反応をみて自己を振り返ること”、“を繰り返し体験していきます。その過程において自己を見つめ、相手を尊重する姿勢や、相手と協調する力を養っていきます。これは、看護師として必要なコミュニケーション力を養うものでもあり、本校が最も重要と考えている教育課程実施の方針です。

2. 〔DP 地域愛を基盤に、心のこもった看護が提供できる力を身につける。〕

対象に心のこもった看護を提供するためには対象を理解することが必要となります。基礎分野で人間や社会について学び、専門分野では基礎看護学をはじめ各領域にわたり身体的・精神的・社会的・霊的側面から人間を統合体として理解するための学習を積み重ねます。また、地域の様々な場における体験学習、実習、学生主体の課外活動をとおして地域に暮らす人々との交流を深めます。中でも、様々な看護活動の場で展開する地域・在宅看護論実習は本校の教育課程実施における特徴を現すもので、人々や暮らしに関心を寄せ、理念に掲げる地域医療の担い手となる看護師を養うためにも力を入れるところです。そして、地域の人々との出会いや交流をとおして思いやりや優しさ、誠実さを育み、豊かな感性を養うことを期待します。

3. [DP 確かな知識と技術をもち、科学的根拠のもと看護を実践する力を身につける。]

人々の命と生活を守る看護専門職として責務を果たすためには、対象に安心・安全な援助を提供するための確かな知識と技術が必要です。そこで、解剖生理の知識をはじめ疾病や健康段階に応じた看護を学ぶ中で、知識を看護に活かすことができる授業の展開をします。そのひとつに、解剖生理学の知識を、症候論に関連させて展開していく授業があります。基礎看護学における臨床判断では、“気づき”を看護専門職の気づきに発展させ臨床判断する力に導きます。これらの知識を各看護学領域の実習で統合させ、看護実践能力につなげます。また、1年次から患者を想定した基礎看護技術のトレーニングを行います。卒業後即実践につなげることができる技術の習得を目指します。2年次から3年次にかけては、各専門領域別の実習をとおして健康段階別・発達段階別の看護について学びを深め、臨床場面を想定したシミュレーション演習や臨地実習をとおして状況を判断しながら看護を実践する力を養っていきます。

4. [DP 専門職業人としての倫理や責務に基づいて考え、行動できる姿勢を身につける。]

成長するまでに培ってきた個々の道徳的考えは、人々の生命や生活を前にその判断を求められ試される時がやってきます。1年次における看護倫理の講義をとおして“倫理”とは何であるかを学び、看護師の行動指針となる「看護者の倫理綱領」について理解を深めていきます。また、グループワークをとおして他者の価値観や、自己の価値観に気づいていけるような授業を展開します。また、実習をとおして“リフレクション”の時間をもち、臨床指導者や専任教員の客観的な視点により実施した看護の振り返りを丁寧に支援します。1年次からの学習や実習における体験をとおして、自分の行動が他者に与える影響について考え、専門職業人としての責任感と倫理観を養っていきます。

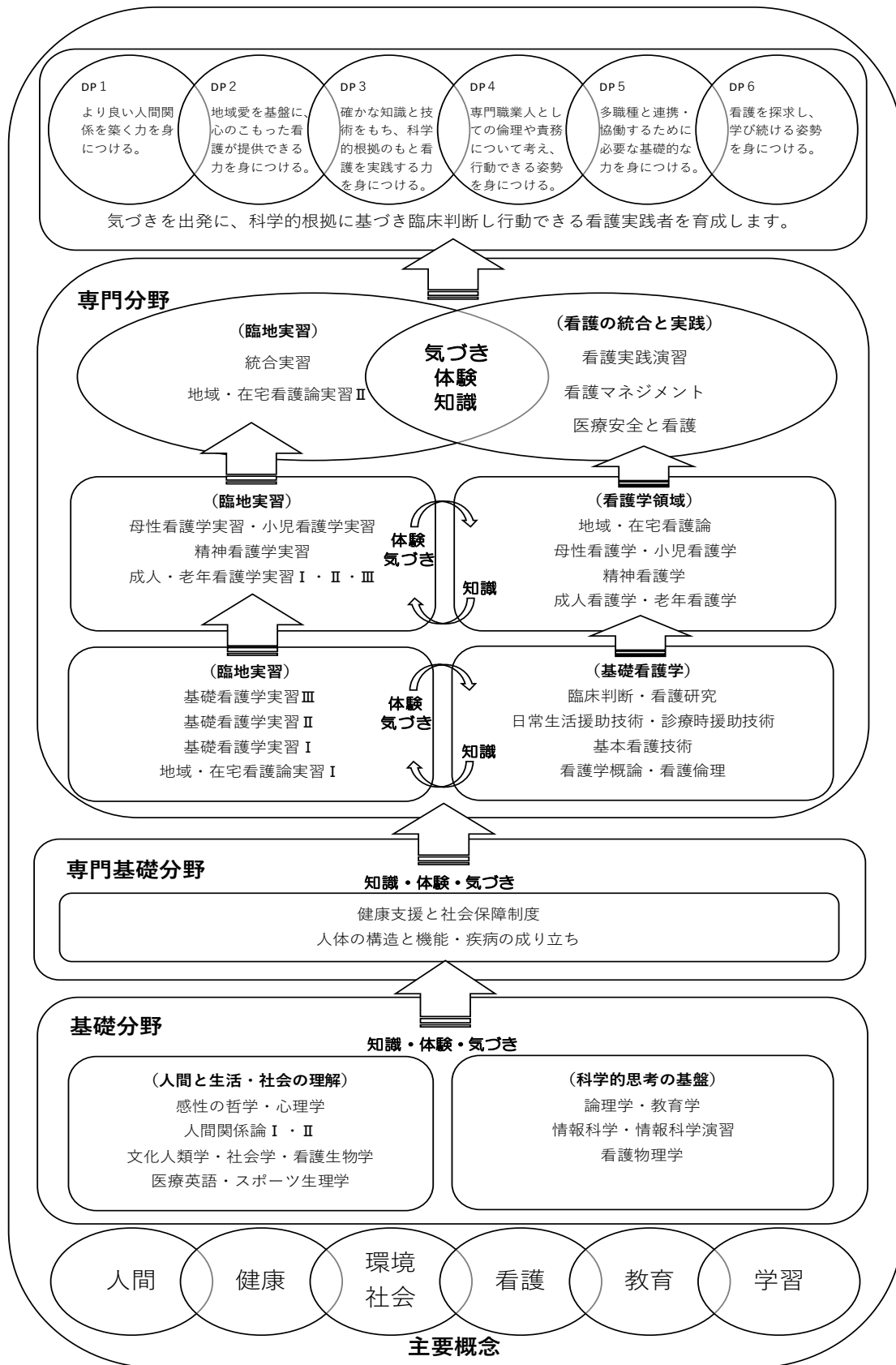
5. [DP 多職種と連携・協働するために必要な基礎的な力を身につける。]

看護はチームで行われます。専任教員が担当する看護学の講義ではグループワークを多く取り入れ、メンバーと協力して最後まで考え抜く力、答えを出す力を養います。地域・在宅看護論や領域横断科目となる家族看護・専門職連携・継続看護をとおしては、保健・医療・福祉にかかわる多職種の役割を学びます。また実習や演習をとおして他専門職学生との交流を深め、専門職間の連携・協働の必要性について考えていきます。このような活動をとおして、メンバーシップ・リーダーシップを身につけながら、多職種と連携・協働する力、地域・在宅で看護を実践する力を養っていきます。

6. [DP 看護を探究し、学び続ける姿勢を身につける。]

各看護学領域で与えられる課題の解決に向けて、個人またはチームで情報を集め整理し、ねばり強く最後まで考え抜き自ら答えを導き出すことのできる講義や実習を展開します。また、看護研究の授業をとおして研究方法を学習し、一つの事例を掘り下げて考え事例としてまとめる力を養っていきます。これらは臨床において課題を発見する力、今後の看護を発展させる力として必ず役立つものとなります。さらに、課外活動では、学生の皆さんの気づきや発想を最大限発揮できる主体的な活動を支援します。主体的な活動は、探求心や学び続ける力を養うものとなります。

カリキュラムデザイン



1年次 開講科目と進度

分野	内容教育	授業科目	学年		1年次												
			単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
基礎分野	科学的思考の基礎	論理学	1	30													
		教育学	1	30													
		看護物理学	1	30													
		情報科学	1	30													
		情報科学演習	1	30													
	人間と生活・社会の理解	社会学	1	30													
		文化人類学	1	30													
		心理学	1	30													
		看護生物学	1	30													
		感性の哲学	1	30													
		人間関係論Ⅰ	1	15													
		人間関係論Ⅱ	1	30													
		医療英語	1	30													
スポーツ生理学	1	30															
専門基礎分野	機能	解剖生理学Ⅰ	1	30													
		解剖生理学Ⅱ	1	30													
		生化学	1	30													
	疾病の成り立ち	病理学総論	1	15													
		症候論Ⅰ	1	30													
		症候論Ⅱ	1	30													
		微生物学	1	30													
		疾病論Ⅰ	1	30													
		疾病論Ⅱ	1	30													
		疾病論Ⅲ	1	30													
		疾病論Ⅳ	1	30													
	疾病論Ⅴ	1	30														
	回復の促進	保健医療論	1	15													
		治療論	1	30													
		臨床栄養学	1	30													
		臨床薬理学	1	30													
	専門分野	基礎看護学	看護学概論	1	30												
看護倫理			1	15													
基本看護技術Ⅰ			1	30													
基本看護技術Ⅱ			1	30													
日常生活援助技術Ⅰ			1	30													
日常生活援助技術Ⅱ			2	60													
<small>地域・在宅看護論</small>		1	15														
成人看護学		成人看護学概論	1	15													
看護年		老年看護学概論	1	15													
看護児		小児看護学概論	1	15													
看護性		母性看護学概論	1	15													
臨地実習	基礎看護学実習Ⅰ	1	45														
	地域・在宅看護論実習Ⅰ	2	90														
合計			45	1260													

2年次 開講科目と進度

分野	内 容 育	授業科目	学年		2年次													
			単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月		
専門基礎分野	社会保健制度と健康支援	公衆衛生学	1	30														
		社会福祉	2	45														
		臨床心理Ⅰ	1	15														
		臨床心理Ⅱ	1	30														
		関係法規	1	30														
専門分野	看護基礎学	診療時援助技術	2	60														
		臨床判断	1	30														
	領域横断	家族看護	1	15														
		保健指導論	1	30														
		周術期と看護	1	30														
		薬物療法と看護	1	30														
		終末期と看護	1	30														
		継続看護	1	15														
	地域在宅	地域・在宅看護方法論Ⅰ	1	30														
	成人看護学	成人看護方法論Ⅰ	1	30														
		成人看護方法論Ⅱ	1	30														
		成人看護方法論Ⅲ	1	30														
		成人看護方法論Ⅳ	1	30														
	看護老年学	老年看護方法論Ⅰ	1	30														
		老年看護方法論Ⅱ	1	30														
	看護小児学	小児看護方法論Ⅰ	1	30														
		小児看護方法論Ⅱ	1	30														
	看護母性学	母性看護方法論Ⅰ	1	30														
		母性看護方法論Ⅱ	1	30														
	看護精神学	精神看護学概論	1	15														
		精神看護方法論Ⅰ	1	30														
		精神看護方法論Ⅱ	1	30														
	看護の統合と実証	医療安全と看護	1	30														
	臨地実習	基礎看護学実習Ⅱ	2	90														
		基礎看護学実習Ⅲ	2	90														
成人老年看護学実習Ⅰ			90															
成人老年看護学実習Ⅱ			90															
小児看護学実習			90															
母性看護学実習			90															
合計			34	1365														

※2月より、3年次の実習が開始します。

3年次 開講科目と進度

分野	内 教 容 育	授業科目	学年		3年次												
			単位数	時間数	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
専 門 分 野	基礎看護学	看護研究	1	30													
	領域横断	専門職連携	1	30													
	地域在宅 看護論	地域・在宅看護方法論Ⅱ	1	30													
		地域・在宅看護方法論Ⅲ	1	30													
		地域・在宅看護方法論Ⅳ	1	15													
	看護の統 合と実践	看護マネジメント	1	30													
		看護実践演習	1	30													
	臨地実習	地域・在宅看護論実習Ⅱ	2	90													
		成人老年看護学実習Ⅰ	2	90													
		成人老年看護学実習Ⅱ	2	90													
		成人老年看護学実習Ⅲ	2	90													
		小児看護学実習	2	90													
		母性看護学実習	2	90													
		精神看護学実習	2	90													
		統合実習	2	90													
合計		22	885														

